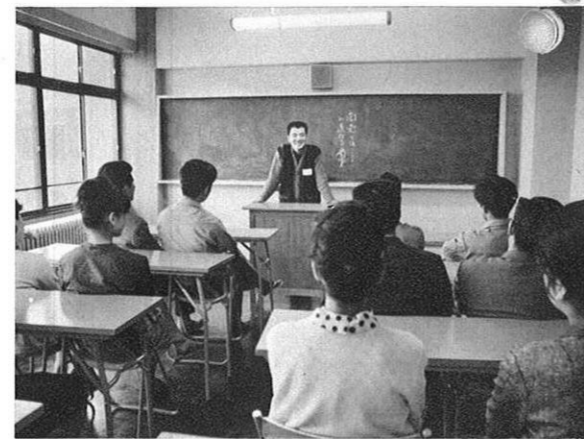




上・玄関を入るとデラックスなロビーがまばゆいばかり



下・300人の収容力をもつ近代的なベッドルーム

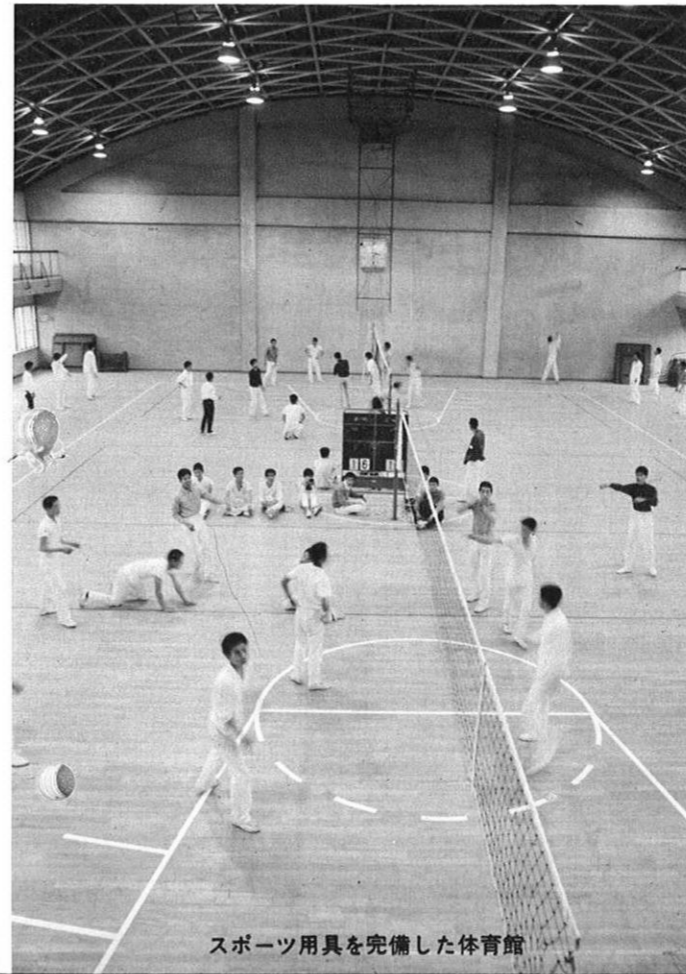


下・小研究室でのディスカッション風景



高原にそびえる国立青年の家

下・高原の空気を腹いっぱい…朝の広場の集い



スポーツ用具を完備した体育館

“高原の中の研修所”

雄大な阿蘇五岳を背にそびえる国立阿蘇青年の家は、一の宮町東小堀に、さる3月下旬に竣工した。本館は鉄筋の3階建て、別棟に体育館があり、おもな施設として、宿舎、食堂、浴場、研修室がある。宿泊は300人が定員。国立青年の家は、青年の団体や青少年指導者団体の研修所というわけだが、発足と同時に、県内外からの利用申込みが殺到している。



広くて明るい大食堂